

地域福祉の担い手に対する支援について

1 経過

これまで、「我が事・丸ごと」の地域づくりへの支援として、地域福祉等に係る県民意識の醸成を図るため、地域福祉等に関するリーフレットを作成し、県民に広く周知するとして、様々な意見を頂戴してきたところである。

【リーフレット作成にあたっての主な意見】

- 県民に何を伝えたいのか（目的は何か）を明確にすること
（地域福祉や地域福祉コーディネーターとは何かを伝えるのか、地域福祉や地域づくりについて意識を持ち行動することの大切さを伝えるのか 等）
- 県民が手に取ってもらえるような、興味を引きようなタイトルや内容であること
- わかりやすい表現や伝わりやすい構成・イラスト・文章を用いること
- 今、県民（地域住民）に何が（何故）求められているのかを説明すること
- すでに活動している人に負担感や押し付けられ感を与えないこと
- 周知する際に、効果的な手段（形式）や方法を用いること

2 方向性の整理

このような意見を踏まえ、地域福祉課として次のように方向性を整理する。

- ・ リーフレットについては、次期地域福祉支援計画（第5期 令和3年度から令和5年度）と整合を図り、計画を紹介するとともに、広く県民に地域福祉活動や地域づくりに目を向けてもらうようなつくりとし、計画のダイジェスト版（概要版）として作成する。

3 今後のスケジュール

次年度行う計画改定作業に合わせ、ダイジェスト版について、上記の意見等も踏まえた内容とし、周知方法等も県のホームページに掲載するだけに留まらず、より多くの県民の目にとまるよう検討する。